

若者による日中関係の発展目指す

—全中国選抜日本語スピーチコンテスト

JFE ホールディングス株式会社
 総務部総務室 主任部員(課長)
鈴木直樹

JFE グループは「常に世界最高の技術をもって社会に貢献します」という企業理念を掲げている。この企業理念を実現するために、コンプライアンスの徹底、環境保全活動の強化、企業を取り巻く社会の発展に向けた活動など様々な CSR 活動を行っており、持株会社である JFE ホールディングスが統括している。今回は、中国の大学生を対象にした「全中国選抜日本語スピーチコンテスト」への支援活動を紹介する。

コンテスト開始から10年連続で協賛

JFE グループは、1978年に営業拠点である北京事務所を初めて設置して以来、中国では現在約40拠点(工場・営業所)、6000人超の社員が働いている。また中国籍の社員も積極的に採用し人材のグローバル化を推進しており、今年も中国国内はもとより日本でも中国籍社員を採用した。グループ全体として中国は非常に重要なパートナーと位置付けている。

中国では約68万人の大学生が日本語を学んでいると言われる。「全中国選抜日本語スピーチコンテスト」(主催：日本経済新聞社、中国教育国際交流協会、日本華人教授会議)はこのような大学生を対象に、日本語の学習意欲を高め日本への理解を深めてもらう場として2006年に開始された。今回で10回目になる。相互理解の原点である「言葉」を通して日中の良好な関係をより幅広く深めていくこと、主に若年層を対象として将来の日中関係を支える担い手を輩出、交流させる場にして

いくことなどを目的としている。

JFE ホールディングスは国際交流と中国の地域社会への貢献を目的とし、第1回から今回まで10回連続で協賛している。

全中国 7400 人の代表 16 人が熱弁

「全中国選抜日本語スピーチコンテスト」は、中国国内での予選会の後東京で本選会が行われる。今年の予選会は中国国内8ブロックに分かれ、対外経済貿易大学(北京)、上海外国語大学(上海)など8大学を会場として5月～6月に行われた。

参加資格は1年以上在学する18～25歳までの中国人大学生で、日本に6カ月以上滞在した経験の無いことなどとしている。スピーチテーマは「日中交流の未来予想図—チャンスとチャレンジ」「スマホで得たものと失ったもの」の2つから選



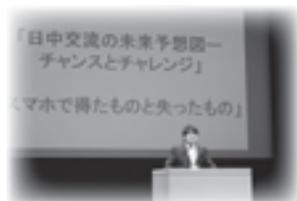
中国で配布されたコンテストチラシと
 広報誌『JFE グループ TODAY』

択する。今回は中国で約7400人の日本語の習得に熱心な大学生が参加した。

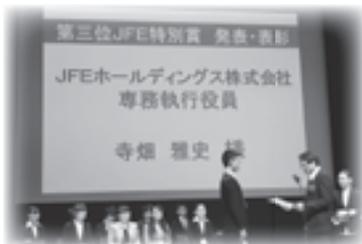
予選会ではチラシによる一般告知、参加者への広報誌『JFEグループ TODAY』の配布などでJFEグループを広く知ってもらうようにしており、少なくとも参加者7400人の数倍の人に認知してもらっていると考えている。

本選会は中国各地での予選を勝ち抜いた16人が来日し、東京で7月21日に開催された。5分間のテーマスピーチの後、2分間の即興による質疑応答がある。質問の内容は、「人生最後の日に食べたいものは」「今までに一番幸せを感じたことは」「今までで最も後悔したことは」などで、思わず答えに詰まる場面も見られたが、真剣な受け答えには胸を打つものがあった。

優勝した廖琦(りょう・き)さんは武昌理工学院の学生。受賞について「本当にうれしい。響きの美しさに引かれて日本語の勉強を始めた。周囲では日本に対する誤解や偏見もあるが、それらを解くように微力ながら尽くしていきたい」と語っている。JFEホールディングスでは優秀者に「JFE特別賞」を授与している。



(左)優勝した廖琦さん
(下)コンテスト参加者たち



JFE 特別賞授与



最先端の鉄鋼生産現場に感動

出場学生たちは6日間日本に滞在した。本選会の他、協賛企業の訪問、日本人大学生や中国人留學生との交流会、東京ディズニーランドなどの観光地巡りで日本への理解を深めてもらった。

JFEホールディングスでは7月23日、グループの中核会社であるJFEスチールの東日本製鉄所(神奈川県川崎市)で環境に配慮した最先端の鉄鋼生産の見学会を開催した。工場では高炉から流れてくる真っ赤な鉄から不純物を取り除き、強くしなやかな鋼にする工程(転炉)を見学した。生産現場を間近に見た見学者たちは、その迫力に次々と歓声を上げ、熱心にいつまでも見続けていた。

今後も重要な位置付けの中国

日本と中国は、長い歴史の中で隣国同士として緊密な関係を結んできた。その上でJFEグループは中国で活発な事業活動を行ってきた。最近の日中関係は難しい問題もあるが、グローバルな活動を行っているJFEグループにとって、中国が重要な位置付けの地域であることは今後も変わらない。2006年から継続して10回の「全中国選抜日本語スピーチコンテスト」を協賛してきたのはその証しである。日中両国の未来をつくるのは若者の世代だ。コンテストが日本への理解を深め、若者たちによる日中関係のさらなる発展に貢献していくことを期待している。

◆ JFEグループのCSR活動

[http://www.jfe-holdings.co.jp/
environment/index.html](http://www.jfe-holdings.co.jp/environment/index.html)